



# 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 丸順  
 コード番号 3422 URL <http://www.maruiun.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 今川 喜章  
 (氏名) 小高 光一  
 配当支払開始予定日

TEL 0584-89-8181  
 平成24年11月27日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	25,776	55.0	456	—	214	—	220	—
24年3月期第2四半期	16,633	△24.0	△218	—	△367	—	△631	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 285百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △830百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	22.62	—
24年3月期第2四半期	△64.64	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	36,445	7,262	12.7
24年3月期	30,399	6,775	14.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 4,613百万円 24年3月期 4,436百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	2.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	39.4	1,500	—	1,200	—	1,200	—	122.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) Indiana Marujun Corporation 、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	9,771,000 株	24年3月期	9,771,000 株
25年3月期2Q	4,855 株	24年3月期	4,855 株
25年3月期2Q	9,766,145 株	24年3月期2Q	9,766,145 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州地域の財政不安問題に起因する景気の下振れ懸念や新興国経済の伸び悩みにより減速の動きが広がっており、日本国内では世界経済の不確実性や長期化するデフレの影響を受けて回復が鈍化するなど、全体で不安定な状況で推移しました。

当社グループが属する自動車業界においては、海外では新興国を中心に市場が拡大しているものの、日本国内では需要喚起の原動力となっていたエコカー補助金制度が9月に終了したほか、日中関係の悪化により輸出が伸び悩む状況となるなど、依然として市場の縮小が続いております。また、衝突安全性能や地球環境問題などの社会的な要求は高まり続けており、業界として対処すべき課題は年々増え続けております。

このような状況のもと、当社グループは第5次中期経営計画の施策として、ボトム生産体質の構築をはじめとする様々な施策に取り組み、生産体質の強化を図ってきたほか、平成23年10月のタイ洪水で被災したタイ・マルジュン社の復興活動に注力してまいりました。また、平成24年6月にはインディアナ・マルジュン社を子会社化し、北米における当社初の部品生産拠点を設けるなど、グローバル事業の拡大展開に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は25,776百万円(前年同四半期比55.0%増)、営業利益は456百万円(前年同四半期は218百万円の営業損失)、経常利益は214百万円(前年同四半期は367百万円の経常損失)となり、タイ洪水によって被災したタイ・マルジュン社の受取保険金を特別利益とした結果、四半期純利益は220百万円(前年同四半期は631百万円の四半期純損失)となりました。

報告セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### (丸順)

丸順においては、当社のメイン商品である車体プレス部品では、東日本大震災からの復興やエコカー補助金制度の実施による需要増加に支えられ生産が好調となるなど、大幅に増産いたしました。また、金型では、新機種用設備の販売が増加したため、全体で好調に推移いたしました。

売上高は9,259百万円(前年同四半期比44.1%増)、経常利益は585百万円(前年同四半期は180百万円の経常損失)となりました。

#### (タイ)

タイにおいては、平成23年10月のタイ洪水で浸水被害を受けた当社工場の操業を、平成24年3月より再開いたしました。主な復旧復興活動の内容としては、浸水した生産設備のメンテナンスや入れ替え作業を行ったほか、洪水等のリスクへの対策を整えてまいりました。また、主要取引先の増産要求に応えるべく生産体制を強化することで、災害によって悪化した業績の正常化を目指してまいりました。

売上高は3,308百万円(前年同四半期比10.0%減)、経常損失は496百万円(前年同四半期は153百万円の経常損失)となりました。

#### (広州)

広州においては、内需の伸び悩みにより中国国内の景気が減速しており、自動車市場の成長も緩やかになるなど、厳しい状況で推移いたしました。そのような状況の中で、平成23年3月の東日本大震災以降、部品供給難に起因していた生産の停滞が完全に解消されたため、売上高、経常利益ともに前年度を上回る状況で推移いたしました。

売上高は4,759百万円(前年同四半期比19.8%増)、経常利益は185百万円(前年同四半期は5百万円の経常損失)となりました。

(武漢)

武漢においては、広州と同様に、内需の伸び悩みにより中国国内の景気が減速しており、自動車市場の成長も緩やかになるなど、厳しい状況で推移いたしました。そのような状況の中で、売上高は前年を下回る水準で推移いたしました。原材料費の削減をはじめとする徹底した原価低減活動に取り組んだほか、利益率の高い製品の受注が好調だったことにより、利益は増加いたしました。

売上高は2,233百万円(前年同四半期比6.0%減)、経常利益は187百万円(前年同四半期比39.1%増)となりました。

(インディアナ)

インディアナにおいては、平成24年6月の子会社化以降、当社より新たに駐在員を派遣し、生産及び人員効率の向上や、当社グループの生産体質の浸透を図るなど、様々な取り組みを行ってまいりました。しかしながら、新機種立ち上がりに伴う費用の増加等により、利益は厳しい状況で推移いたしました。

売上高は6,379百万円、経常損失は130百万円となりました。

(四輪販売)

四輪販売においては、新車販売はエコカー補助金制度の実施や、東日本大震災による商品供給不足が完全に解消されたことにより、好調に推移いたしました。また、中古車販売、保険及びサービスも堅調に推移し、全体として売上高、経常利益ともに前年を上回る状況となりました。

売上高は1,354百万円(前年同四半期比47.6%増)、経常利益は11百万円(前年同四半期は12百万円の経常損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、36,445百万円となり、前連結会計年度末と比較し、6,046百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1,858百万円増加、仕掛品が224百万円増加、原材料及び貯蔵品が719百万円増加、有形固定資産が3,699百万円増加したことが要因であります。

負債総額は29,183百万円となり、前連結会計年度末と比較し、5,559百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,573百万円増加、短期借入金が136百万円増加、長期借入金2,522百万円増加、リース債務が452百万円増加したことが要因であります。

なお、このうち受取手形及び売掛金961百万円、仕掛品154百万円、原材料及び貯蔵品575百万円、有形固定資産2,762百万円、支払手形及び買掛金1,791百万円、短期借入金597百万円、長期借入金1,773百万円及びリース債務105百万円は、インディアナ・マルジュン社の新規連結に伴う増加であります。

純資産は7,262百万円となり、前連結会計年度末と比較し、487百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が219百万円増加、為替換算調整勘定が85百万円増加したことが要因であります。

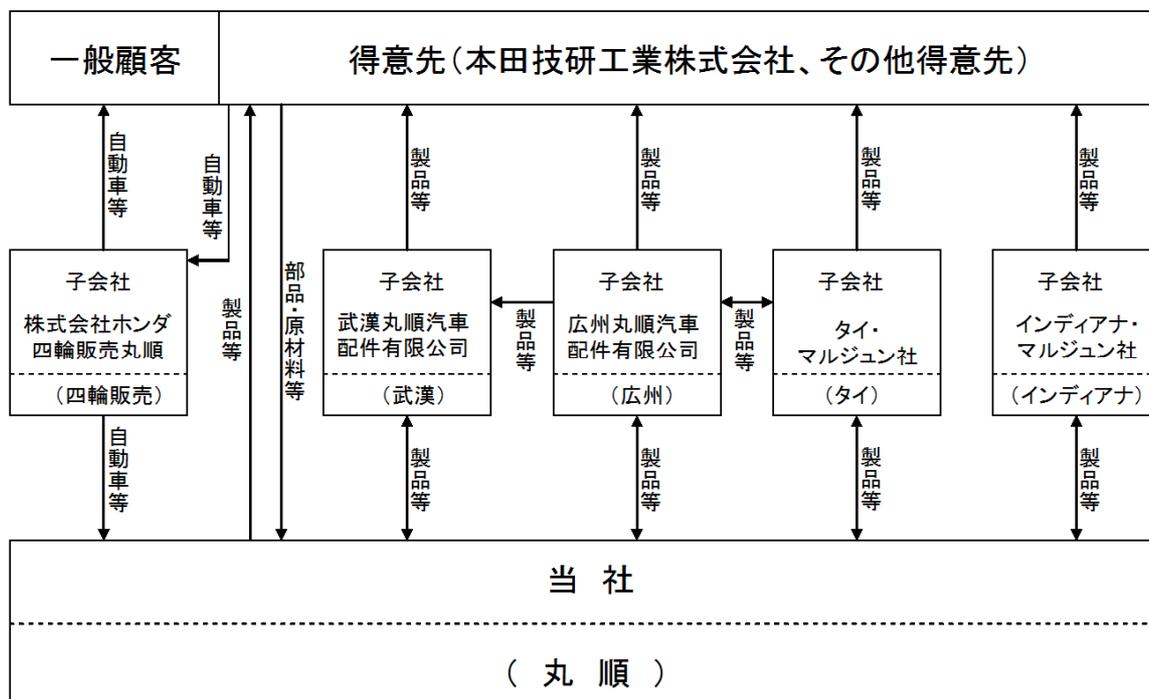
(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期連結業績予想につきましては、中国市場の先行き状況が極めて不透明であることから、現時点では平成24年6月11日に発表の予想を据え置いております。今後の市況や業績動向等を踏まえ修正が必要と判断された場合には、速やかに情報開示を行うことといたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成24年6月13日付でIndiana Marujun Corporation(インディアナ・マルジュン社)の株式を追加して取得し、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。



## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社において、従来、有形固定資産(建物、工具器具及び備品のうち金型、並びにリース資産を除く)の減価償却の方法について主に定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法によることとしました。

当連結会計年度において、当社製品の主要取引先の生産戦略の見直しを受け、当社において生産設備の汎用化及び生産の平準化が進められる結果、有形固定資産(建物、工具器具及び備品のうち金型、並びにリース資産を除く)は、新機種立ち上り時に生産設備の稼働が高く年数の経過とともに減少する傾向から、中長期的に安定して使用されることとなるため定額法へ変更しました。

これにより、従来の方法と比較して、当第2四半期連結累計期間の減価償却費は72百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ68百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,202	1,760
受取手形及び売掛金	5,785	7,643
商品及び製品	330	428
仕掛品	997	1,221
原材料及び貯蔵品	490	1,209
その他	996	1,154
貸倒引当金	△1	△12
流動資産合計	10,802	13,406
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,861	5,761
機械装置及び運搬具(純額)	4,055	5,210
工具、器具及び備品(純額)	3,606	4,438
土地	1,882	2,069
リース資産(純額)	859	1,301
建設仮勘定	2,195	2,379
有形固定資産合計	17,461	21,160
無形固定資産	111	146
投資その他の資産		
その他	2,040	1,749
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	2,023	1,732
固定資産合計	19,596	23,039
資産合計	30,399	36,445

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,554	7,127
短期借入金	7,449	7,585
リース債務	331	368
未払法人税等	79	88
賞与引当金	206	201
その他	1,609	2,298
流動負債合計	15,230	17,671
固定負債		
長期借入金	6,704	9,227
リース債務	292	707
退職給付引当金	856	911
資産除去債務	82	83
負ののれん	16	11
その他	441	572
固定負債合計	8,394	11,512
負債合計	23,624	29,183
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,037	1,037
資本剰余金	935	935
利益剰余金	3,221	3,440
自己株式	△2	△2
株主資本合計	5,192	5,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	514	386
為替換算調整勘定	△1,270	△1,184
その他の包括利益累計額合計	△755	△798
少数株主持分	2,338	2,649
純資産合計	6,775	7,262
負債純資産合計	30,399	36,445

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	16,633	25,776
売上原価	15,193	22,895
売上総利益	1,439	2,880
販売費及び一般管理費	1,657	2,424
営業利益又は営業損失(△)	△218	456
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	12	14
助成金収入	68	18
その他	38	30
営業外収益合計	122	69
営業外費用		
支払利息	194	218
為替差損	53	22
その他	23	69
営業外費用合計	271	311
経常利益又は経常損失(△)	△367	214
特別利益		
固定資産売却益	1	0
受取保険金	—	878
特別利益合計	1	879
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産廃棄損	18	379
災害による損失	79	—
段階取得に係る差損	—	128
その他	13	0
特別損失合計	111	511
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△477	583
法人税等	178	285
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△656	297
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△24	76
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△631	220

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△656	297
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△224	△128
為替換算調整勘定	49	116
その他の包括利益合計	△174	△12
四半期包括利益	△830	285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△828	178
少数株主に係る四半期包括利益	△1	107

## (3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	丸順	タイ	広州	武漢	四輪販売	
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	5,816	3,666	3,859	2,375	914	16,633
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	608	11	114	△0	3	737
計	6,425	3,677	3,974	2,375	917	17,370
セグメント利益又は損失(△)	△180	△153	△5	134	△12	△217

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△217
セグメント間取引消去	90
子会社配当金	△266
その他の調整額	25
四半期連結損益計算書の経常利益	△367

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

## (セグメントの概要)

当社の報告セグメントは、会社別を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、会社別に「丸順」(当社)、「タイ」(タイ・マルジュン社)、「広州」(広州丸順汽车配件有限公司)、「武漢」(武漢丸順汽车配件有限公司)、「四輪販売」(株式会社ホンダ四輪販売丸順)の5つを報告セグメントとしておりましたが、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」に記載のとおりIndiana Marujun Corporation(インディアナ・マルジュン社)を連結の範囲に含めたため、当第1四半期連結累計期間より、「インディアナ」(インディアナ・マルジュン社)を報告セグメントに追加しております。

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	丸順	タイ	広州	武漢	インディアナ	四輪販売	
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	8,164	3,296	4,350	2,233	6,379	1,351	25,776
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,094	11	408	0	0	3	1,519
計	9,259	3,308	4,759	2,233	6,379	1,354	27,296
セグメント利益又は損失(△)	585	△496	185	187	△130	11	343

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	343
セグメント間取引消去	△7
子会社配当金	△132
その他の調整額	11
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	214

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社及び国内連結子会社は、従来、有形固定資産（建物、工具器具及び備品のうち金型、並びにリース資産を除く）の減価償却の方法について主に定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法によることといたしました。

この結果、従来の方法と比較して、当第2四半期連結会計期間の減価償却費は丸順で71百万円、四輪販売で1百万円減少し、セグメント利益がそれぞれ丸順で67百万円、四輪販売で1百万円増加しております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。